

人と組織の変革を加速する新本社

- 2026年度よりスタートした中期経営計画2028では、目指す姿として「リース会社から大きな飛躍を遂げ、お客さまと共に未来を共創するプラットフォームカンパニーへ」を掲げ、「変革を加速すると共に、未来の成長を確かなものにする3年間」として変革を加速
- 目指す姿の実現に向けた取り組みとして「人的資本強化」や「企業カルチャー変革」にも注力。新本社への移転は、「変化に対応し自らを変革、成長し続ける組織への進化」に向けた重要な経営戦略の一環として実施

経営戦略

目指す姿の実現に向けた、事業ポートフォリオの変革と変化に強い経営基盤の構築
新たな価値創造に向け、変化に対応し自らを変革、成長し続ける組織への進化

経営課題

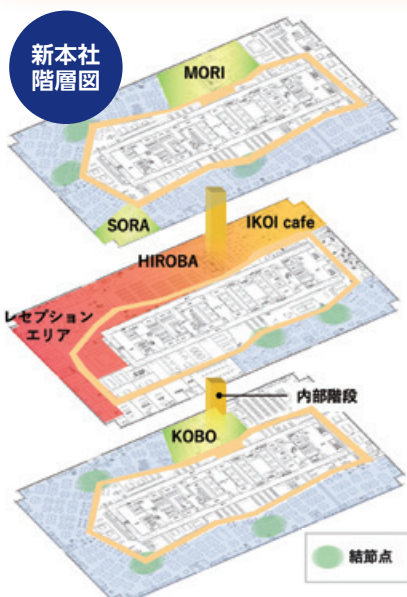
外部環境が激しく変化中、サステナブルな成長を実現するために、
自律的な個・変化に強い組織・働き方の転換が求められている
新たな価値創造に向けたコミュニケーション・コラボレーションの観点において
オフィス環境に課題（多層構造・他拠点構造・共創スペースの拡大余地に乏しい）

移転の目的

- 1 仕事の質を
変化させよう
- 2 働き方を
柔軟にしよう
- 3 エンゲージメントを
高めよう
- 4 デジタルを
活用しよう
- 5 採用力を
強化しよう

移転のコンセプト「ACTION! IT'S MY TURN!」

我々は誰もがビジネスシーンの中の演者だ。
役を演じる時もあれば、縁の下の力持ちに徹する時もある。
ひとりひとりがそれぞれの持ち場で汗を流し、
ひとつの「作品」が完成した時に喜びを分かち合うチームだ。
だが待てよ、いつも誰かの「ACTION!」の声を待っているだけになってはいないか？
私たちが作っているのは決められたシナリオがある映画ではない。
自らスタートの合図を叫んで動いてみるのもいいんじゃないか？
一歩踏み出すことで新しい発見がある、新しい繋がりが生まれる。
『ACTION! IT'S MY TURN!』私の出番だ！



「ACTION!」を引き出す環境の構築

- A 五感を刺激し、自発的な「ACTION!」を促す環境デザインと仕掛けづくり
- B 社内外との交流やコミュニケーションを誘発する空間・動線計画
- C AI・デジタルを活用した、多様な働き方と生産性向上を支える執務環境



新本社の様子をぜひ映像でご覧ください。

新本社 ドローン紹介動画

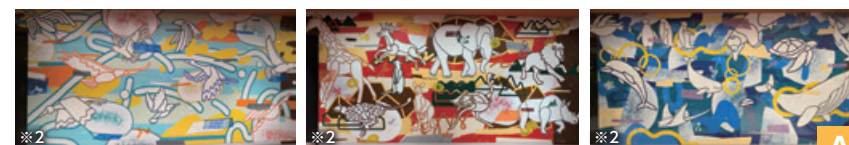


<https://www.mizuho-ls.co.jp/ja/news/news5233273671071367198.html>



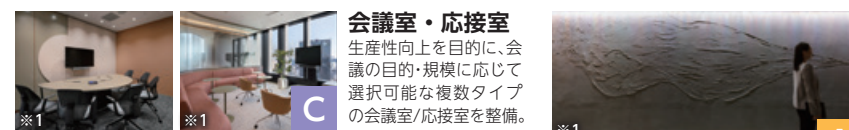
28F HIROBA

全社イベントや外部企業との交流に対応。可動式家具の採用により、多様なシーンに柔軟に対応可能。

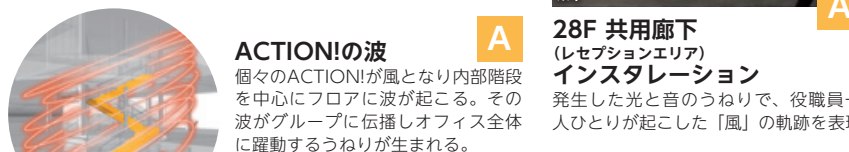


社員共創アート

社員265名が現地制作に参加して完成した共創アート。壁画のなかには役職員が考えた「ACTION!」のデザインが散りばめられており、前を通るたびに「ACTION!」への想いと活力が湧いてくる。



会議室・応接室
生産性向上を目的に、会議の目的・規模に応じて選択可能な複数タイプの会議室/応接室を整備。



ACTION!の波
個々のACTION!が風となり内部階段を中心にフロアに波が起こる。その波がグループに伝播しオフィス全体に躍動するうねりが生まれる。

28F 共用廊下 (レセプションエリア) インスタレーション

発生した光と音のうねりで、役職員一人ひとりが起こした「風」の軌跡を表現。



内部階段

3フロアをつなぐ内部階段を設け、移動のなかで自然なコミュニケーションが生まれる動線を計画。フロアを超えた偶発的な交流を促進。



触覚に訴えかけるロボットも



オープンMTGエリア

執務エリア

窓側執務席

集中エリア

オープンMTGスペース等の「動」の機能から、窓側に向かうにつれて集中エリア等の「静」の機能へと段階的に切り替わるゾーニング。執務エリア（WORKING AREA）のなかで業務内容に合わせて座席を選択しながら働くことが可能。

新本社が日経ニューオフィス賞において「クリエイティブ・オフィス賞」を受賞しました

日本経済新聞社と一般社団法人ニューオフィス推進協会が主催する第39回「日経ニューオフィス賞」において、当社の本社オフィスが応募総数124件のなかから16件に贈られる「ニューオフィス推進賞」を受賞するとともに、「クリエイティブ・オフィス賞」に選出されました。

▶ 日経ニューオフィス賞 <https://www.nopa.or.jp/prize/contents/congratulation39.html>